

学校教育目標	夢と希望に向かって「邁進」する西の台っ子の育成
育成を目指す資質・能力	確かな学力の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 市標準学力調査(4年)に加え、県学力定着状況調査(5年)、全国学力・学習状況調査(6年)においても全ての教科・観点で県平均、全国平均を上回っている	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 理解度は高い児童が多いが、基礎・基本の定着が不十分な児童がいる。また、家庭での学習習慣に改善が必要な児童がいる。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) 「書く」(91%⇒92%)「話す」(84%⇒87%)「聴く」(93%⇒95%)とそれぞれの活動において「できた」と回答した児童の割合が増えてきている。保護者アンケートでも同様の伸びが見られた。教職員アンケートにおいても、「聴く」「話す」活動において工夫をしたという回答の割合が増えている。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・「自分の考え」「その根拠・理由」など、話す・書く活動を効果的に学習活動の中に取り入れる。 ・課題に対しての「考え」「学習の振り返り」視点(西の台バージョン)をもって書く時間の保障を行っている。 ・ペア活動やグループ活動を効果的に取り入れ、考えを表現・交流する場を設定した。 ・授業の中で理解に時間のかかった問題の類似問題に取り組みせている。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・語彙を増やすために読書時間の確保に努めた。音読ワーク「話す・聞くスキル」を活用した。 ・スピーチタイムを設定し、話す機会をもった。日記等書く活動を定期的に取り入れている。 ・基礎学力の定着のため、保護者と協力して家庭学習に取り組みせている。 ・テスト後に誤答分析を行い、事後指導に生かす。	

学力に関する達成指標

- ・「授業が分かりやすく楽しい」と回答する児童を90%以上にする。
- ・単元末テストで各教科80点以上の理解ができている子どもの割合を80%以上にする。

